

1 企画展

画業50年記念  
倉島重友展

- 会期 2019年4月20日(土)～6月2日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館  
後援：茨城新聞社／朝日新聞水戸総局／  
毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸  
支局／産経新聞社水戸支局／東京  
新聞水戸支局／株式会社茨城放送  
／龍ヶ崎市／龍ヶ崎市教育委員会  
／北茨城市／北茨城市教育委員会
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 38日間
- 入場者数 9,100人
- 観覧料 一般720(620)円／満70歳以上360(310)円  
／高大生510(410)円／小中生310(210)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※土曜日は高校生以下無料  
※4月27日(土)は満70歳以上の方無料
- 出品点数 全73点
- 内容解説

長野県千曲市出身で茨城県龍ヶ崎市在住の日本画家・倉島重友(1944-)は、昭和46年(1971)再興第56回院展で初入選したのち、平山郁夫に師事して研さんを積んだ。平成13年(2001)次代を担う画家に授与される第7回天心記念茨城賞を受賞、平成16年には日本美術院同人となり、現在も院展の中心画家として第一線で活躍している。

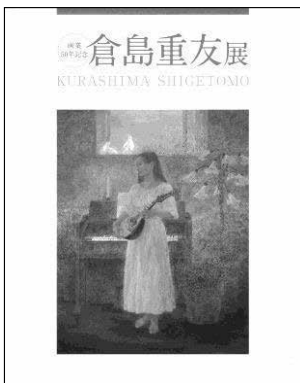
倉島は、家族など身近な人物、郷里長野や龍ヶ崎市周辺の自然をテーマとし、のち取材に訪れたインドや中国、ヨーロッパの自然とそこに暮らす人々に対して慈しみと敬愛の眼差しを注いだ。これらを柔らかな色彩と繊細な筆遣いによって清新かつ情緒豊かに描き、生命美や自然美を高らかに謳い上げる独自の芸術を築いている。

本展は、東京藝術大学卒業50年を機に開催するもので、院展出品の代表作を中心に、初期から近作までの73点により、その画業の歩みと芸術の魅力を紹

- 介した。
- 担当 中田智則(首席学芸員)
- 関連事業  
倉島重友氏によるギャラリートーク&サイン会  
日時：4月20日(土)・5月11日(土)  
各日午後1時30分～午後3時  
来て・見て・発見!アートツアー for Kids  
日時：4月27日(土) 午後1時30分～  
対象：小中学生  
オープンワークショップ「日本画の絵の具で描こう」  
日時：5月3日(金・祝)・5月4日(土・祝)  
各日午後1時～午後3時  
対象：小学生以上  
日本画体験実技講座「季節の花を描く」  
日時：5月12日(日) 午前10時～午後4時  
講師：倉島重友氏  
対象：高校生以上  
展覧会担当によるギャラリートーク  
日時：5月18日(土)・5月26日(日)  
各日午後1時30分～  
担当：中田智則(首席学芸員)

- 関連記事  
・龍ヶ崎在住 日本画家・倉島さん 画業50年の回顧展 北茨城あす開幕 4月19日【茨城新聞】  
・画業50年記念 倉島重友展ー草原に降り立つミュージーザー 4月21日【新美術新聞】  
・学芸員ミュージアム談義 県天心記念五浦美術館「画業50年記念 倉島重友展」出品番号1番「望郷」の奇跡(首席学芸員 中田智則) 4月28日【産経新聞】  
・画業50年記念 倉島重友展ー草原に降り立つミュージーザー(編集部) 【美術の窓】5月号  
・千曲市出身の日本画家・倉島重友さん 茨城で「画業50年記念」個展 温雅な世界 熟慮重ね表現(植草学) 5月3日【信濃毎日新聞】  
・日本画制作の思い語る 画業50年記念展 倉島さんが作品解説 五浦美術館(勝村真悟) 5月12日【茨城新聞】  
・人物や自然、情緒豊かに 日本画倉島さん画業50年展 県天心記念五浦美術館(勝村真悟) 5月19日【茨城新聞】  
・学芸員ミュージアム談義 県天心記念五浦美術館 企画展「画業50年記念 倉島重友展」画家の妻であること(首席学芸員 中田智則) 5月19日【産経新聞】

- 関連放送  
・NHKニュース 5月24日(金)【NHK水戸放送局】



図録 A4 変形



ポスター B2



チラシ A4

## ● 出品リスト一覧

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	初出展	所蔵先
1	望郷	昭和44年(1969)	215.4×170.0	東京藝術大学卒業制作	故 安木良平氏
2	讃歌	昭和46年(1971)	165.0×205.0	再興第56回院展(初入選)	作家
3	回転木馬	昭和49年(1974)	170.0×205.0	再興第59回院展	作家
4	林	昭和50年(1975)	170.0×205.0	再興第60回院展	作家
5	雨後	昭和51年(1976)	205.0×170.0	再興第61回院展	作家
6	影	昭和53年(1978)	170.0×197.7	再興第63回院展	長野県信濃美術館
7	旅立ち	昭和54年(1979)	162.0×112.0	'79昭和世代日本画展	作家
8	秋の風	昭和54年(1979)	197.0×170.0	再興第64回院展	長野県信濃美術館
9	行く秋	昭和55年(1980)	198.0×170.0	再興第65回院展	作家
10	よう 遙	昭和56年(1981)	170.0×197.0	再興第66回院展	信濃毎日新聞社
11	ミモザ	昭和57年(1982)	80.3×116.7	時代への日本画展1982	個人
12	しじま	昭和57年(1982)	97.0×110.0	第37回春の院展	作家
13	水溜	昭和57年(1982)	72.7× 91.0	第3回東京セントラル美術館 日本画大賞展(大賞)	公益財団法人ひろしん文化財団
14	やまべ 山辺	昭和58年(1983)	197.0×170.0	再興第68回院展	個人
15	ようか 揺花	昭和59年(1984)	170.0×197.0	再興第69回院展	佐久市立近代美術館
16	夏野	昭和60年(1985)	170.0×215.0	再興第70回院展	大山治郎コレクション美術館
17	空	昭和61年(1986)	100.0×100.0	第41回春の院展	代々木ゼミナール
18	虹	昭和61年(1986)	170.0×215.0	再興第71回院展(奨励賞)	公益財団法人平野美術館
19	霧野	昭和62年(1987)	170.0×215.0	再興第72回院展(奨励賞)	箱根・芦ノ湖 成川美術館
20	野辺	昭和62年(1987)	65.2× 91.0	第7回三人展－倉島重友・野村 義照・山本真也－(彩鳳堂画廊)	個人
21	ひびき 白い響	昭和63年(1988)	215.0×170.0	再興第73回院展(奨励賞)	箱根・芦ノ湖 成川美術館
22	湖	平成2年(1990)	112.1×162.1	第1回「両洋の眼」展	江戸川女子中学高等学校
23	遠い昔	平成2年(1990)	170.0×215.0	再興第75回院展	長野県信濃美術館
24	しん 浸	平成3年(1991)	227.3×162.1	再興第76回院展	水野美術館
25	秋桜	平成4年(1992)	45.5× 60.6	駿々会展(銀座スルガ台画廊)	個人
26	うたう 謳	平成4年(1992)	170.0×214.5	再興第77回院展(奨励賞)	長野県信濃美術館
27	野の花 ※	平成4年(1992)	80.3×116.7	第11回三人展－倉島重友・野村 義照・山本真也－(彩鳳堂画廊)	作家
28	花菖蒲	平成4年(1992)	91.0× 65.2		個人
29	野	平成5年(1993)	90.9× 60.6	三人展－荒井孝・倉島重友・北野 治男－(春風洞画廊)	大山治郎コレクション美術館
30	紹興雨余	平成5年(1993)	170.0×215.0	再興第78回院展	株式会社 西邑画廊
31	霧の道 ※	平成6年(1994)	80.3×116.7	第5回「両洋の眼」展	京都造形芸術大学附属康 耀堂美術館
32	木陰	平成6年(1994)	215.0×170.0	再興第79回院展	大山治郎コレクション美術館
33	春蘭	平成7年(1995)	53.0× 72.7		個人
34	ADAGIO	平成8年(1996)	215.0×170.0	再興第81回院展	上田市立美術館
35	きざし 萌	平成9年(1997)	164.0×113.0	第8回「両洋の眼」展	水野美術館
36	風の影	平成9年(1997)	170.0×215.0	再興第82回院展	水野美術館
37	風	平成10年(1998)	120.0× 80.3	第9回「両洋の眼」展	水野美術館

※27「野の花」は5月21日(火)からの展示, 31「霧の道」は5月19日(日)までの展示。

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	初出展	所蔵先
38	白韻	平成11年(1999)	171.0×340.0 (四曲一隻屏風)	'99日本画の新世代展	作家
39	昼下がり	平成11年(1999)	170.0×215.0	再興第84回院展	上田市立美術館
40	水の径 <sup>みち</sup>	平成12年(2000)	145.0× 70.0	第55回春の院展(奨励賞)	水野美術館
41	帰路	平成12年(2000)	170.0×205.0	再興第85回院展	千曲市立屋代中学校
42	揺映 <sup>ようえい</sup>	平成13年(2001)	100.0×100.0	第56回春の院展(春季展賞)	広島信用金庫
43	川風	平成13年(2001)	215.0×170.0	再興第86回院展(日本美術院賞 大観賞, 天心記念茨城賞)	茨城県近代美術館
44	草棉摘 <sup>わたつみ</sup>	平成14年(2002)	100.0×100.0	第57回春の院展	広島市立大学芸術資料館
45	浄 <sup>じよう</sup>	平成15年(2003)	100.0×100.0	第58回春の院展	広島市立大学芸術資料館
46	合歓 <sup>ねむ</sup> の花頃	平成16年(2004)	72.7× 60.6	第4回21世紀展	千曲市
47	小憩 <sup>しょうけい</sup>	平成16年(2004)	215.0×170.0	再興第89回院展	作家
48	刻 <sup>こく</sup>	平成17年(2005)	181.8×227.3	再興第90回院展	上田市立美術館
49	風渡る	平成18年(2006)	170.0×227.3	再興第91回院展	作家
50	春を運ぶ	平成19年(2007)	116.7× 90.9	第62回春の院展	作家
51	竹林風奏	平成19年(2007)	171.0×340.0 (四曲一隻屏風)	再興第92回院展	作家
52	春を告げる	平成20年(2008)	116.7× 90.9	第63回春の院展	作家
53	東風釣人 <sup>こちちようじん</sup>	平成20年(2008)	171.0×340.0 (四曲一隻屏風)	再興第93回院展	作家
54	微風 <sup>そよかぜ</sup>	平成21年(2009)	116.7× 90.9	第64回春の院展	作家
55	萌春霧林(戸隠)	平成21年(2009)	171.0×340.0 (四曲一隻屏風)	風渡る一倉島重友日本画展 (日本橋三越)	水野美術館
56	山百合	平成21年(2009)	100.0× 72.7	風渡る一倉島重友日本画展 (日本橋三越)	個人
57	帰路	平成23年(2011)	116.7× 90.9	第66回春の院展	千曲市立東小学校
58	菜花川	平成23年(2011)	53.0× 72.7	第11回21世紀展	個人
59	道標 <sup>みちしるべ</sup>	平成23年(2011)	162.0×162.0	再興第96回院展	作家
60	合歓 <sup>ねむ</sup>	平成24年(2012)	170.0×215.0	再興第96回院展(内閣総理大臣賞)	千曲市
61	春を聴く	平成25年(2013)	116.7× 90.9	第68回春の院展	作家
62	風曆 <sup>ふうれき</sup>	平成25年(2013)	170.0×215.0	再興第98回院展	作家
63	白い響	平成26年(2014)	90.0×116.7	第69回春の院展	作家
64	空へつづく道	平成26年(2014)	170.0×215.0	再興第99回院展	作家
65	春の牧場 <sup>まきば</sup>	平成27年(2015)	116.7× 90.9	第70回春の院展	作家
66	草原の風	平成27年(2015)	170.0×215.0	再興第100回院展	作家
67	目覚める森	平成27年(2015)	171.0× 30.0	風の声を聴く一倉島重友日本画展 (日本橋三越)	作家
68	合歓 <sup>ねむ</sup>	平成27年(2015)	70.0×145.5	風の声を聴く一倉島重友日本画展 (日本橋三越)	作家
69	初秋	平成27年(2015)	91.0× 65.2	風の声を聴く一倉島重友日本画展 (日本橋三越)	作家
70	微風	平成28年(2016)	170.0×215.0	再興第101回院展	作家
71	別れ道	平成29年(2017)	90.0×116.7	第72回春の院展	作家
72	祈りの街	平成29年(2017)	210.0×170.0	再興第102回院展	作家
73	春の水	平成30年(2018)	116.7× 90.9	第73回春の院展	作家

## 近代陶芸の巨匠 板谷波山展

- **会期** 2019年6月7日(金)～7月15日(月・祝)
- **主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館  
協力：筑西市／一般財団法人波山先生記念会
- **ポスター** B2
- **チラシ** A4
- **開催日数** 34日間
- **入場者数** 9,192人
- **観覧料** 一般310(260)円／満70歳以上150(130)円  
／高大生210(150)円／小中生150(100)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※土曜日は高校生以下無料
- **出品点数** 作品33点, 資料9点
- **内容解説**

近代日本陶芸の巨匠、板谷波山(1872-1963)は、茨城県下館町(現・筑西市)に生まれ、東京美術学校彫刻科で岡倉天心、高村光雲らに学んだ。その後、陶磁器の最先端の技術を学び、アール・ヌーボー様式の意匠や新しい釉薬の研究に着手した。明治36年、東京の田端に築窯すると、故郷の筑波山に因んで波山と号し、本格的に陶芸家としての活動を始めた。それまでなかった〈芸術作品としての陶芸〉の創造に全身全霊を捧げた波山は、数々の公募展への出品及び受賞を重ね、昭和28年には陶芸家としては初の文化勲章を受章した。波山は、伝統的な技法の洗練と新たな表現方法への挑戦により、典雅な美しさに満ちた作品の数々を生み出し、91歳で生涯を閉じるまで日本近代陶芸の嚆矢として活躍した。

本展では、波山の東京美術学校時代の課題画を展示し、当時の授業の内容を紹介すると共に、波山の同窓で、卒業後は国宝の仏像修理保存に携わった新納忠之介と交わした書簡等により、親友との交流や当時の生活の一端も紹介した。

- **担当** 富永京子(首席学芸主事)
- **関連事業**
  - 映画会  
日時：6月9日(日)・7月14日(日)  
各日午前10時～、午後2時～  
展覧会担当によるギャラリートーク  
日時：6月15日(土)・7月7日(日)  
各日午後1時30分～  
担当：富永京子(首席学芸主事)
  - 来て・見て・発見!アートツアー for Kids  
日時：6月22日(土) 午後1時30分～  
対象：小中学生
  - 美術講演会「板谷波山と畏友・新納忠之介」  
日時：6月23日(日) 午後1時30分～午後3時  
講師：学習院大学教授 荒川正明氏
- **関連記事**
  - ・波山芸術と人間像に迫る 友との交流紹介も  
県五浦美術館企画展開幕(佐川友一)  
6月8日【茨城新聞】
  - ・学芸員ミュージアム談義 検品通じ作家と向き合う  
県天心記念五浦美術館「近代陶芸の巨匠  
板谷波山展」(首席学芸主事 富永京子)  
6月10日【産経新聞】
  - ・板谷波山の世界 解説付きで巡る五浦美術館で企画展  
6月16日【朝日新聞】
- **関連放送**
  - ・NHKニュース  
6月5日(水)【NHK水戸放送局】



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作者名	作品名	制作年	所蔵先
<b>東京美術学校時代から石川県工業学校教諭時代</b>				
1	板谷 嘉七(波山)	東京美術学校課題画(臨画・斉后破環図)	明治24年頃	茨城県天心記念五浦美術館
2	板谷 嘉七(波山)	東京美術学校課題画(新案・鷺)	明治24年頃	茨城県天心記念五浦美術館
3	板谷 嘉七(波山)	東京美術学校課題画(臨画・花鳥図, 舜拳)	明治24年頃	茨城県天心記念五浦美術館
4	板谷 曙堂(波山)	東京美術学校課題画(新案・新年試筆)	明治24年頃	茨城県天心記念五浦美術館
5	板谷 嘉七(波山)	東京美術学校課題画(臨画・菩薩坐像)	明治24年頃	茨城県天心記念五浦美術館
6	板谷 嘉七(波山)	彩磁芭蕉蛙文花瓶	明治31~36年頃	板谷波山記念館
7	板谷 嘉七(波山)	海水着少女像	明治36年頃	茨城県陶芸美術館
8	板谷 嘉七(波山)	彩磁藤文花瓶	明治時代後期	板谷波山記念館
<b>アール・ヌーボーや東洋の古美術からの影響</b>				
9	板谷 波山	彩磁金魚文花瓶	明治43年	筑西市
10	板谷 波山	彩磁八ツ手葉文手焙	明治末期~大正初期	筑西市
11	板谷 波山	彩磁百合文花瓶	大正初期	筑西市
12	板谷 波山	彩磁八ツ手葉文鉢	大正初期	茨城県陶芸美術館
13	板谷 波山	葆光彩磁孔雀尾文様花瓶	大正3年頃	茨城県陶芸美術館
14	板谷 波山	葆光彩磁赤呉須模様鉢	大正5年	茨城県陶芸美術館
15	板谷 波山	八ツ手葉花瓶	大正8年頃	筑西市
16	板谷 波山	彩磁延壽文花瓶	昭和11年頃	茨城県陶芸美術館
17	板谷 波山	彩磁草花文花瓶	昭和25年頃	茨城県陶芸美術館
18	板谷 波山	百合図(素描)	昭和前期	板谷波山記念館
19	板谷窯跡(田端)出土	陶片		板谷波山記念館
<b>親友・新納忠之介との絆</b>				
20	板谷 波山	鈴木作平像	明治35年頃	しもだて美術館
21	新納 忠之介	寿老人額	明治27年	茨城県天心記念五浦美術館
22	板谷窯跡(田端)出土	陶珠(素焼)	明治39年	板谷波山記念館
23	板谷 波山	書簡 新納忠之介宛	明治38年	茨城県天心記念五浦美術館
24	新納 忠之介	書簡 板谷波山宛	明治39年	個人
25	板谷 波山	書簡 新納忠之介宛	昭和18年	茨城県天心記念五浦美術館
<b>鑑賞の器から用の器へ</b>				
26	板谷 波山	紫金磁唐花文花瓶	昭和初期	茨城県陶芸美術館
27	板谷 波山	辰砂磁花瓶	昭和初期	しもだて美術館
28	板谷 波山	青磁廣口花瓶	昭和前期	茨城県陶芸美術館
29	板谷 波山	白磁牡丹彫文花瓶	昭和前期	茨城県陶芸美術館
30	板谷 波山	青磁鳳耳花瓶	昭和19年	茨城県陶芸美術館
31	板谷 波山	氷華磁延壽文花瓶	昭和27年	茨城県陶芸美術館
32	板谷 波山	青磁瓢花瓶	昭和33年	茨城県陶芸美術館
33	板谷 波山	鯉耳花瓶(素焼)	昭和10~30年代	板谷波山記念館
<b>■茶道具</b>				
34	板谷 波山	裂紋青磁香爐	大正後期	茨城県陶芸美術館
35	板谷 波山	天目茶碗	昭和初期	しもだて美術館
36	板谷 波山	天目茶盤	昭和前期	茨城県陶芸美術館
37	板谷 波山	茶入	昭和24年頃	茨城県陶芸美術館
38	板谷 波山	氷華磁香炉	昭和20~30年代	しもだて美術館
<b>妻・まるの支えと故郷・下館への思い</b>				
39	板谷 波山	鳩杖	昭和20年	板谷波山記念館
40	板谷 波山	三宝柑図	昭和20~30年代	板谷波山記念館
41	板谷 波山	嘉祥文刺繍帯図案 靈芝	昭和26年	茨城県陶芸美術館
42	青木 志津恵 (図案:板谷波山)	嘉祥文刺繍帯	昭和26年	茨城県陶芸美術館

# 入江明日香

—心より心に伝ふる花なれば—

- **会期** 2019年7月20日(土)～9月1日(日)
- **主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館  
協 力：丸沼芸術の森  
企画協力：アート・ベンチャー・オフィス ショウ  
後 援：茨城新聞社／朝日新聞水戸総局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／株式会社茨城放送／北茨城市／北茨城市教育委員会

- **ポスター** B2
- **チラシ** A4
- **開催日数** 39日間
- **入場者数** 11,003人
- **観覧料** 一般720(620)円／満70歳以上360(310)円  
／高大生510(410)円／小中生310(210)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※7月20日(土), 8月31日(土)は高校生以下無料  
※7月20日(土)は満70歳以上の方無料
- **出品点数** 全83点

## ● 内容解説

若手アーティストの中でもトップランナーのひとりとして活躍中の銅版画家・入江明日香(1980-)。手漉き和紙に刷った銅版画を切り取ってコラージュし、水彩・墨・箔・胡粉などで彩色する独自の技法によって、東洋と西洋、現在と過去というように相対する空間や時代を一つの画面に融合させた個性溢れる入江芸術を展開している。ところで、入江は2012年、文化庁新進芸術家海外研修制度によりフランス・パリに赴くと、歴史ある銅版画専門工房アトリエ・コントロールポアンで一版多色刷りを深く学び、その技法を確かなものとした。この留学では日本の浮世絵作品のよさを再発見し、日本の古美術へ目を向ける転機にもなった。帰国後は、フランスで出会った子供たちや宿泊先のアパートからの風景とともに、浮世絵からの引用を思わせる人物や富士山が絵巻のように展開する作品を発表した。



ポスター B2



会場限定チラシ A4

本展は、屏風の大作をはじめとする代表作に加え、創作の軌跡をうかがえるエスキースなど、高校時代から2018年までの作品83点で構成する公立美術館としては初の大規模な個展である。パリ留学を経て輝きを増した色彩による宝石のように美しい画面、時空を超えた不思議な世界観など、入江芸術をあますことなく紹介した。

● **担当** 村山佐知子(首席学芸主事)

## ● 関連事業

入江明日香氏によるギャラリートーク&サイン会  
日時：7月20日(土)・7月21日(日)

〈トーク〉 各日午後1時30分～

〈サイン会〉 各日午後2時30分～

来て・見て・発見!アートツアー for Kids

日時：7月27日(土) 午後1時～

対象：小中学生

ミュージアムパーク茨城県自然博物館学芸員+展覧会担当によるギャラリートーク

日時：8月3日(土) 午後1時30分～

担当：ミュージアムパーク茨城県自然博物館資料課学芸員 伊藤彩乃

茨城県天心記念五浦美術館企画普及課

首席学芸主事 村山佐知子

オープンワークショップ「銅版画を刷っちゃおう！」

日時：8月13日(火)・14日(水)・15日(木)

各日午前10時～12時, 午後1時～3時

展覧会担当によるギャラリートーク

日時：8月18日(日) 午後1時30分～

担当：村山佐知子(首席学芸主事)

茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート

日時：8月25日(日) 第1部 午前11時～

第2部 午後2時～

特別出演：北茨城市立中郷中学校吹奏楽部(第1部のみ)

## ● 関連記事

- ・入江明日香展 茨城県天心記念五浦美術館 7月8日【両毛新聞】
- ・独特の技法 作品83点 北茨城 銅版画家の企画展 7月9日【読売新聞】
- ・気鋭の若手銅版画家 入江明日香さん作品展 20日から北茨城・五浦美術館 7月11日【毎日新聞】
- ・入江明日香 心より心に伝ふる花なれば 7月12日【読売新聞】
- ・入江明日香 心より心に伝ふる花なれば 7月19日【毎日新聞】
- ・学芸員ミュージアム談義 県天心記念五浦美術館「入江明日香—心より心に伝ふる花なれば—」パリ留学で習得した技法(首席学芸主事 村山佐知子) 7月20日【産経新聞】
- ・創作活動の軌跡 北茨城 銅版画家・入江明日香展 独特なコラージュ堪能 7月24日【茨城新聞】

## ● 関連放送

- ・NHKニュース 8月20日(火)【NHK水戸放送局】

● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	技法・素材, 形状	サイズ	所蔵先
1	習作	1998	鉛筆・ペン, 紙	65×50	丸沼芸術の森
2	Lotus[蓮]	2001	ミクストメディア, パネル	78.5×78.5	丸沼芸術の森
3	眠る雨	2004	ミクストメディア, パネル	130×138	丸沼芸術の森
4	Crow[鳥]	2004	ミクストメディア, パネル	126×96	個人
5	未草 <sup>ひつじき</sup>	2005	エッチング, 紙	40×40	丸沼芸術の森
6	Blue poppy[青い芥子]	2005	ミクストメディア, パネル	124×138	サクラアートミュージアム
7	Garden[庭]	2006	ミクストメディア, パネル	180×360	丸沼芸術の森
8	Clover[四つ葉]	2006	ミクストメディア, パネル	145×145	丸沼芸術の森
9	Pueraria[プエラリア]	2006	ミクストメディア, パネル	145.3×145.2	丸沼芸術の森
10	Marguerite[雛菊]	2007	ミクストメディア, パネル	162.5×162.5	丸沼芸術の森
11	Bindweed[浜昼顔]	2008	ミクストメディア, パネル	91×116.8	丸沼芸術の森
12	山茶花	2008	ミクストメディア, パネル	145.5×145.7	丸沼芸術の森
13	雲井の鶴	2008	ミクストメディア, パネル	130×162	ギャラリー和田
14	白玉椿	2009	ミクストメディア, パネル	59.5×59.7	丸沼芸術の森
特1	Balloon Flower[桔梗]	2006	ミクストメディア, パネル	130×162	丸沼芸術の森
特2	Magnolia Liliflora[紫木蓮]	2008	ミクストメディア, パネル	116.7×91	丸沼芸術の森
<b>II章 人物へのまなざし</b>					
15	シロバナハギ	2009	ミクストメディア, パネル	90×70	個人
16	大山蓮華	2010	ミクストメディア, 二曲一隻屏風	158×172	丸沼芸術の森
17	白牡丹	2010	ミクストメディア, パネル	120×120.3	I氏コレクション (富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館寄託)
18	黒牡丹	2010	油彩, キャンバス	120×120	個人
19	一夜草	2010	油彩, キャンバス	80×80	松岡賢一氏
20	夜香蘭	2011	ミクストメディア, パネル	70×70	丸沼芸術の森
21	鳥足升麻	2011	ミクストメディア, パネル	53×45	個人
23	舞妃蓮	2011	油彩, キャンバス	120×100	個人
24	麟鳳	2011	ミクストメディア, パネル	170×122	I氏コレクション (富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館寄託)
特3	遊蝶花	2011	ミクストメディア, パネル	138×124	丸沼芸術の森
<b>III章 パリへむかって</b>					
25	小手毬	2012	ミクストメディア, パネル	73×91	丸沼芸術の森
26	衣笠草	2012	ミクストメディア, パネル	140.1×70	丸沼芸術の森
27	黒姫紫陽花	2012	ミクストメディア, パネル	140.2×70	丸沼芸術の森
29	夕牡丹	2013	ミクストメディア, パネル	30×30	丸沼芸術の森
31	La chocolaterie[チョコレート屋]	2013	油彩, キャンバス	30×30	個人
32	Facteur parisien[郵便配達夫]	2014	ミクストメディア, パネル	53×45	個人
33	Le Petit Cardinal [ル・プティ・カルディナル]	2014	ミクストメディア, 六曲一隻屏風	158×516	丸沼芸術の森
34	Sentiments éphémères japonais [日本の儚さ]	2014	ミクストメディア, 二曲一隻屏風	120×180	個人
35	Moments fugaces parisiens [パリの儚さ]	2014	ミクストメディア, 二曲一隻屏風	120×180	個人
特4	Les quatre saisons "Printemps" [四季「春」]	2014	ミクストメディア, 軸	53×45	丸沼芸術の森
特5	Les quatre saisons "Ete" [四季「夏」]	2014	ミクストメディア, 軸	53×45	丸沼芸術の森
<b>IV章 日本にて</b>					
39	平成 東海道五拾三次之内:日本橋 (入江明日香オリジナル)	2015	ミクストメディア, パネル	60×50	丸沼芸術の森

No.	作品名	制作年	技法・素材, 形状	サイズ	所蔵先
40	平成 東海道五拾三次之内:品川 (入江明日香オリジナル)	2015	ミクストメディア, パネル	60×50	作家
41	Jouer au chat et à la souris [猫と鼠の追いかっこ]	2015	ミクストメディア, パネル	90×70	個人
42	Zéphyr violet iris[杜若]	2015	ミクストメディア, パネル	170×122	個人
43	La forêt blanche[白い森]	2016	ミクストメディア, パネル	170×122	個人
44	増長天	2016	ミクストメディア, パネル	160×100	丸沼芸術の森
45	廣目天	2016	ミクストメディア, パネル	160×100	丸沼芸術の森
46	持国天	2016	ミクストメディア, パネル	160×100	丸沼芸術の森
47	多聞天	2016	ミクストメディア, パネル	160×100	丸沼芸術の森
48	冬鶏頭	2016	ミクストメディア, 軸	53×45	作家
49	江戸淡墨大桜	2016	ミクストメディア, 六曲一隻屏風	158×516	丸沼芸術の森
50	Un matin d'hiver à Paris [パリの冬の朝]	2017	ミクストメディア, パネル	70×60	個人
51	Soldat du feu[火消し]	2017	ミクストメディア, パネル	90×70	ギャラリー和田
52	Sapeur-pompier[火消し]	2017	ミクストメディア, パネル	90×70	個人
53	Vagues déferlantes[大波]	2017	ミクストメディア, パネル	100×120	丸沼芸術の森
54	En virée sur la Shutokô [首都高を駆ける]	2017	ミクストメディア, パネル	100×120	個人
56	四季草花図	2017	ミクストメディア, 軸	200×86	丸沼芸術の森
57	Loup solitaire[孤高の狼]	2018	ミクストメディア, パネル	90×70	個人
58	Nouvelle année[新しい年]	2018	ミクストメディア, パネル	53×45	上坂元氏
59	横浜海航図	2018	ミクストメディア, パネル	84×52	個人
60	京都白浪図	2018	ミクストメディア, パネル	84×52	個人
特6	春宴の図	2017	ミクストメディア, パネル	60×100	丸沼芸術の森
特7	早春紅梅図	2018	ミクストメディア, パネル	84×52	個人
<b>V章 一版多色刷—創造を支える確かなテクニック—</b>					
61	Oiseau[鳥]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×15	作家
62	Oiseau II[鳥 II]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×15	作家
63	Oiseau III[鳥 III]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×15	作家
64	Paon[孔雀]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×15	作家
65	Paon II[孔雀 II]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×15	作家
66	Coq [鶏]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×20	作家
67	Coq II [鶏 II]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×20	作家
68	Coq III [鶏 III]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×20	作家
69	Papillon[蝶]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×20	作家
70	Papillon I [蝶 I]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×20	作家
71	Lévrier II [グレーハウンド II]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	15×15	作家
72	Volubilis[朝顔]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	30×20	作家
73	Le ciel[空]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	40×40	作家
74	Le printemps[春]	2013	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	40×40	作家
75	Fleur[花]	2014	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	30×20	作家
76	Fleur III [花 III]	2014	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	30×20	作家
77	Ailes[羽]	2014	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×15	作家
78	Nuit de clair de Lune[月夜]	2014	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	30×20	作家
79	L'archer ailé[翼を持った馬]	2014	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	30×20	作家
80	L'archer ailé II [翼を持った馬 II]	2014	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	30×20	作家
81	Vagues déferlantes[大波]	2016	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	40×30	作家
82	La pivoine noire[黒牡丹]	2016	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	50×35	作家
83	Une fenêtre sur l'été[夏の窓]	2017	エンブレイヴィング・エッチング, 紙	20×15	作家



## 開催中止となった企画展

空調設備改修のため、予定されていた以下の展覧会は開催が中止となりました。

- ・「現代日本画の歩み 天心記念茨城賞の作家たち」 令和元年9月6日(金)～10月6日(日)
- ・「平福百穂展」 令和元年10月12日(土)～11月24日(日)
- ・「いにしえを描く」 令和元年12月7日(土)～令和2年2月2日(日)
- ・「ひろがる墨」 令和2年2月8日(土)～4月5日(日)

## 2 体験プログラム

# 日本画ってなあに？ ーみて・さわって・かいてみようー

- 会期 令和元年11月1日(金)～令和2年3月31日(火)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 127日
- 体験者数 11,726人
- 体験料 無料
- 内容解説

日本画をより身近に感じられるよう、体験プログラム「日本画ってなあに？ーみて・さわって・かいてみようー」を開催した。このプログラムは、日本画に用いられる絵具や紙などの画材に触れたり、筆などの用具を実際に使ったりして、絵具の美しさや画材・用具の特徴を知ることが可能となっている。また、掛け軸や絵巻の複製を使って扱い方を体験するコーナーや、墨や絵具を使った簡単な実技の体験ができるコーナーもあり、様々な角度から日本画に親しむことができ、五浦美術館で日本画の新たな魅力を発見してもらえる内容であった。

- 担当 富永京子(首席学芸主事) 村山佐知子(首席学芸主事) 横山智絵(首席学芸主事) 塩田稔雄(学芸員)

### ●展示内容

- ・和紙や絵絹をさわってみよう  
いろいろな和紙や絵絹にさわると、種類によって変わる厚みや質感を感じることができる。
- ・絵具の原石をみよう  
日本画に用いられる岩絵具がどのような原料から作られているか、粒子の大きさによって色がどのように変化するかを紹介した。
- ・屏風の仕組みを知ろう  
屏風の蝶番がどのくらい開くかクイズ形式を取りながら、模型(ミニチュア)を操作して知ってもらった。
- ・触って感じるコーナー(土日祝日の午後1時から3時まで)  
天然岩絵具の原料である鉱石を紹介したり、手にとってもらったりした。
- ・いろいろな筆を使ってみよう  
連筆や面相筆などの描き心地を試すことができた。
- ・五浦の作家になりきろう  
日本美術院研究所で岡倉天心の指導を受けた五浦の作家のように、畳の上で絵を描く姿勢をとって記念撮影ができるコーナーを設置した。
- ・鑑賞コーナー(構図を考えよう、季節を感じよう)  
複製画によりクイズ形式の鑑賞ができた。

### ●体験内容

- ・掛軸をかけてみよう  
複製の掛軸を用いて、掛軸をかける体験。持ち方や巻き方などスタッフがていねいに教えた。

月	作品名	参加人数
10月	「水中の鹿」(菱田春草) 「林和靖」(菱田春草) 「滝に紅葉」(川端龍子)	576
12月	「慈母」(竹内栖鳳) 「るり鳥」(富田溪仙) 「花咲翁」(小杉放菴)	197
1月	「慈母」(竹内栖鳳) 「るり鳥」(富田溪仙) 「花咲翁」(小杉放菴)	326
2月	「牽牛花」(速水御舟) 「金時」(小杉放菴)	238

※3月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休止。

合計 1,337

- ・絵巻を鑑賞しよう

複製の絵巻を巻きながら鑑賞する体験。絵巻の鑑賞の仕方や、扱い方を紹介した。

月	作品名	参加人数
11月～3月	「鳥獣人物戯画」(高山寺所蔵)	3,016

・実技コーナー

簡単な日本画の体験。作品はお持ち帰りいただいた。

月	作品名	参加人数
11月	「墨で描こう」	1,405
12月	「紺地に金で描こう」	1,105
1月	「紺地に金で描こう」	1,413
2月	「墨で竹を描こう」	1,020
※3月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休止。		合計 4,943

●関連イベント

オープンワークショップ「金地に墨で描こう」

日時：令和元年11月13日(水・県民の日)  
午前10時～12時 午後1時30分～午後3時30分

場所：講座室

対象：小学生以上

アートツアー for Kids

日時：令和元年10月26日(土)「ガラスに描く夢の世界」  
令和2年1月18日(土)「墨と水のハーモニー」  
令和2年3月21日(土)「和と光のアート」 ※3月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休止。

※いずれも午後1時30分～午後3時(90分程度)

対象：小中学生

●関連記事

美術館で日本画を体験 北茨城・県天心五浦美術館

12月5日【読売新聞】

・日本画好きになって 筆で実技や用具紹介 県五浦美術館で体験企画

1月6日【茨城新聞】

・体験プログラム「日本画ってなあに？みて・さわって・かいてみよう」

1月22日【茨城新聞】



ポスター B2



チラシ A4



掛軸体験



墨で描く体験



紺地金泥の実技体験



なりきり体験



屏風の仕組み



絵巻体験



構図を考えよう



アートパズル



墨で描こう

### 3 岡倉天心記念室

●概要 岡倉天心の生涯や多方面にわたる業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

#### (1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年4回の展示を行った。

#### ●会期及び出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
<b>■第1回 平成31年4月25日(木)～令和元年6月23日(日)</b>							
1	横山 大観	1868-1958	樹下美人	明治45年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×51.0	
2	菱田 春草	1874-1911	普賢菩薩	明治35年	絹本・彩色・軸装	94.5×49.8	
3	下村 観山	1873-1930	高士観瀑	大正8年	絹本・彩色・軸装・対幅	各142.2×55.3	
4	木村 武山	1876-1942	出山之釈迦	明治45～大正3年頃	絹本・彩色・軸装	117.3×55.0	寄託
5	木村 武山	1876-1942	貴紳観桜図	明治33～34年頃	絹本・彩色・軸装	119.8×49.5	
<b>■第2回 令和元年6月25日(火)～令和元年8月25日(日)</b>							
1	横山 大観	1868-1958	苦行	明治44年頃	紙本・彩色・軸装	126.0×61.0	寄託
2	菱田 春草	1874-1911	林和靖	明治34～35年頃	絹本・墨画彩色・軸装	50.5×40.5	寄託
3	下村 観山	1873-1930	納涼図	明治42年	絹本・墨画・軸装	84.0×50.0	
4	木村 武山	1876-1942	日本武尊	明治39～40年頃	絹本・彩色・軸装	124.7×33.7	寄託
5	木村 武山	1876-1942	聖観音	大正12～14年頃	絹本・彩色・軸装	130.8×50.2	寄託
<b>■第3回 令和元年8月27日(火)～令和元年12月22日(日)</b>							
1	岡倉 天心	1863-1913	山水の図	明治37年	絹本・墨画彩色・額装	80.8×27.5	複製画
2	岡倉 天心	1863-1913	竹の図	明治37年	絹本・彩色・額装	91.8×24.3	複製画
3	岡倉 天心	1863-1913	日の出(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	63.2×46.9	複製画
4	岡倉 天心	1863-1913	月(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	48.6×36.0	複製画
5	岡倉 天心	1863-1913	海辺の松	明治37年	絹本・彩色・額装	49.6×88.2	複製画
6	岡倉 天心	1863-1913	ロバと人物	明治37年	絹本・彩色・額装	49.0×86.3	複製画
<b>■第4回 令和元年12月24日(火)～令和2年4月10日(金)</b>							
1	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景(遠浦雲帆)	大正2～3年	絹本・彩色・軸装	131.0×50.3	複製画
2	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景(山市晴嵐)	大正2～3年	絹本・彩色・軸装	131.0×50.3	複製画
3	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景(瀟湘夜雨)	大正2～3年	絹本・彩色・軸装	131.0×50.3	複製画
4	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景(烟寺晚鐘)	大正2～3年	絹本・彩色・軸装	131.0×50.3	複製画
5	菱田 春草	1874-1911	黒き猫	明治43年	絹本・彩色・軸装	151.4×51.0	複製画
6	岡倉 天心	1863-1913	ロバと人物	明治37年	絹本・彩色・額装	49.0×86.3	複製画

※第3回、第4回は空調の不具合により、予定を変更して全て複製画を展示した。

## (2) 資料テーマ展示

天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

- **テーマ名** 「絵画における近代の諸問題」から『茶の本』へ
- **会 期** 2019年6月25日(火)～8月25日(日) ※空調の不具合により、会期を短縮した。
- **内容解説** 「絵画における近代の諸問題 (原題: Modern Problems in Painting)」は、天心が明治37 (1904) 年のセントルイス万国博覧会で行った講演草稿である。草稿の中で天心は「茶の湯」を「共感の藝術」とみなし、「俗世のさまざまな事実を、調和を保ちながら味わっていくための重要な方法」と述べているが、これは2年後にニューヨークで刊行される『茶の本 (原題: The Book of Tea)』(1906年) で提唱された「不完全」の思想に連なる内容であったことが指摘されている。本展示では、「絵画における近代の諸問題」と『茶の本』、天心の思想がうかがい知れる二つの資料を紹介した。
- **展示資料** ・岡倉天心「Modern Problems in Painting (絵画における近代の諸問題)」 明治37年 (個人蔵)  
・岡倉天心『The Book of Tea (茶の本)』(初版本, タゴール署名入) (個人蔵)
- **担 当** 塩田 积雄 (学芸員)
  
- **テーマ名** 岡倉天心全集のあゆみ
- **会 期** 2019年12月24日(火)～2020年3月31日(火)
- **内容解説** これまで、天心の全集はたびたび編纂されてきた。大正11年に日本美術院より刊行された『天心全集』が最も古い。昭和に入ると、天心全集は相次いで編纂されるようになり、より一層内容が充実していく。昭和10年、天心没後20年を記念して『岡倉天心全集』(聖文閣) が刊行され、さらに4年後には六藝社から全集が出版される。昭和19年、横山大観らが中心となった岡倉天心偉績顕彰会編集の『天心全集』の出版が計画されたが、これは敗戦によりわずか2冊の刊行をもって頓挫した。本展示ではこのような天心全集の歴史について、戦前期を中心に紹介した。
- **展示資料** ・『天心全集』1923年、日本美術院 (見返し: 横山大観, 下村観山筆)  
・『岡倉天心全集』第1巻, 1935年, 聖文閣  
・『天心全集』1944年, 岡倉天心偉績顕彰会 (見返し: 小林古径筆)
- **担 当** 塩田 积雄 (学芸員)